



おおぐち しろう
大口司郎 議員

Shiro Oguchi



9月定例会

質疑あれこれ

討議

一般質問

Q. 災害廃棄物の対応は A. 処理基本計画の中で検討する

近年、大震災や気候変動に伴う強い台風・集中豪雨などが、全国各地で発生し、莫大な損害を与えている。本町域においてはマグニチュード8以上の南海トラフ地震が起きる確率は70%程度と予測されている。平成12年の東海豪雨では2日間の積算降水量は多い所で600ミリに上った。今年の7月には、岡山・広島・愛媛等15府県にわたり、西日本豪雨が発生し、226人の尊い命が失われた。想定外という言葉はもう通じない。本町も同様な災害がいつ発生するかもしれない。災害発生時の災害廃棄物処理について尋ねる。

Q 災害発生時の建物・家財等々、災害廃棄物について、他市町では災害廃棄物処理計画を策定されているところもあるが、本町はどのような対応を考えているか。

A 生活福祉部長
環境省において、地方自治体の災害廃棄物対策を促進するため、平成26年3月に災害廃棄物対策指針が策定された。愛知県では、平成28年10月に愛知県災害廃棄物処理基本計画を策定し、県および県内市町村等における災害廃棄物対策の基本的な考え方や方向性をとりまとめた。

本町は、平成22年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画の中で災害廃棄物対策計画を掲げており、この一般廃棄物処理基本計画を来年度、改正する予定で、新たに災害廃棄物処理計画も単独の計画として策定したいと考えている。

Q 特に分別がむずかしい廃棄物処理の対応は。

A 生活福祉部長
災害廃棄物処理計



▲東海豪雨で集められた豊山町の災害廃棄物

画を策定する中で検討していく。

Q 現在建設中の(仮称)北名古屋清掃工場での対応は可能か。

A 生活福祉部長
本町は、名古屋市、

北名古屋市、北名古屋衛生組合との協議が必要となり、これらの関係機関と調整しながら、災害廃棄物処理計画を策定する中で検討していく。